



生涯学習だより

鶴田町教育委員会
社会教育課
☎ 59-2022



昔の貴重な物品を 御紹介ください

町教育委員会では、どこに、どのような物品が保存・保管・所蔵（所有）されているかの状況を把握したいと考えています。

そこで、もしご家庭に次のような貴重な物品を所蔵されている方は、町社会教育課（59・2022 道川内）までお知らせください。

- 【例】家系図
- 系図
- 古い時代の書き物（墨字もの、題字）
- 巻き物
- 知行名寄帳
- 田畑や収入に関して書かれた物
- 講、掛け軸、絵物
- 卒業証書、成績表（通知表）
- 明治・大正・昭和40年頃まで
- お内仏関係（番役や講など）の書き物
- 村長・村議会議員の当選証書（昭和20年頃までの現物）
- 古い、又は有名な書家・画家の掛け軸
- 割に古い写真（明治・大正時代）
- 勲章（軍人勲章、叙勲勲章等）
- 軍服（兵・将校・礼服等）
- 戦時中の軍用服（テートル、軍

- 服、背囊、水筒、軍人手帳、襟章、肩章、戦闘帽等）
- 慰問袋とその中身
- 召集令状、千人針
- 戦時時代の教科書

「助け合った家族」 紫尾小五年 前田詩葉さん



私の家族は、父、母、妹、私の四人家族です。私の家族は、休みの日になると、お弁当を持って公園へ行ったり、映画を見に行ったりして、楽しく過ごしています。

ある日の夕方、突然母から言われました。

「お母さんは、川内の病院に入院することになったよ。」

「えっ、本当なの。」

私はびっくりして信じられませんでした。そして、泣き出しそうになりました。

「お母さんはいないけど、三人で力をあわせてがんばってね。」

と、母が励ましてくれました。本当は、私たちが病気の母を励ましてあげなくてはいけないのに。

それから五か月間、母の入院生活が始まりました。私たちは、三人で

「親子の絆を考える」 講演会より



8月3日（土）、町高校生クラブ・父母の会主催による学習会が開催されました。

「子ども達にもっとプラスの言葉をかけてやること」

「外面だけで評価するのではなく子ども達の内面を見るように努力しよう。」

「親が思っていることと子どもが受け取っていることにはずれがある。子どもと話やスキンシップが大切。」

「障害を持った友達がいるが、その人の前向きさに学ばされています。」

等の貴重なお話を伺い、参加者も改めて自分の家族・親子のあり方を考えさせられた方も多かったのではないかと思います。

学習会の案内

各学校で家庭教育学級が開催されています。鶴田幼稚園・小学校家庭教育学級では次の日程で教育講演会（学習会）を計画しています。

- 【期日】 9月5日（木）
- 【時間】 19時～20時30分
- 【場所】 町中央公民館 研修室
- 【講師】 光明坊住職
- 【演題】 「石神 行信」先生 家族のあり方

第五回つるだ・パソコン塾

本年度最後のパソコン塾を次の日程で開催します。開催まで期間が少ないですが、多数お申込み下さい。

- 【期日】 9月7日（土）8日（日）
- 【時間】 午前9時～午後4時
- 【場所】 鶴田中学校パソコン室
- 【内容】 基礎技能講習（6時間）
- エクセル活用術（6時間）

※ 表やグラフ、家計簿作成等【申し込み先】

9月6日（金）までに町社会教育課（59・2022）へ。

ご飯を作ったり、せんたくをしたりしました。妹と二人でがんばり表を作った。当番を決めました。今までやらなかった仕事を三人で分担し、夜おそくまでかかったこともありました。特に、せんたくものがうまくたたけませんでした。いつも母は、簡単にたたんでいました。が、実際にしてみると思うようにいかず、形がくずれてしまいました。

そんなある日、私はかぜをひいてしまいました。とても体がだるく、頭ががんがんでした。動く元気が全くありませんでした。きつくてきつくてご飯の味は変な味がしておいしくありませんでした。でも、父が作ってくれたおかゆは、しっかりと味がついていて、とてもおいしかったです。

時々、心細いこともありましたが、父や妹も同じ気持ちでつらかったこと、もたくさんあったと思います。その時こそ、仕事や勉強を一生けん命がんばりました。私たちが一生けん命がんばり、母が退院してきました。

でも、まだ母はしっかりと病気がなおっていないので、すっかり病気がなおるまで、お手伝いをがんばり、母を助けたいです。

そして、また前のように、お弁当を持って公園へ行ったり、映画を見に行ったりして、楽しく過ごせる計画を立てていきたいと思っています。母も父も妹も大好きです。

フォーラム「父・かえる」 開催（川内市にて）

8月4日（日）川内市でフォーラム「父・かえる」が開催され、県内各

ALTが変わります



（ALT）
パルディニ
ブライアン
（山川町教育委員会へ）

皆さま、一年間どうもありがとうございました。この一年間は、とても早く過ぎてしまいました。皆さまは、コミュニケーションが大変でも、私をとても親切にやさしく扱って下さいました。ですから、心の底からありがとうございます。たい気持ちでいっぱいです。本当にいろいろな大変お世話になりました。一年経って、まだ、一年生程度の日本語しかできず、皆さまと一緒にちよっとコミュニケーションができて、鶴田を去ることとても残念です。

また、私は皆さまから日本と鹿児島 特に鶴田についてよく教えていただきましたが、私の国についてよく教えて差し上げることができませんでした。とても残念です。

鶴田には、美しい自然が多いです。紫尾山に沈む夕日や霧に包まれた川内川やいい臭いのする竹やぶなど。この全部が見れなくて悲しいです。その上に、実は、皆さまの親切な顔が見えなくてとてもさびしくなります。

皆さま、一年間心からありがとうございました。

地から約八百名のPTA、学校、行政、教育関係団体代表者が集い、家庭教育における父親の役割について各分科会での事例発表・協議、全体シンポジウムが行われ、熱心な協議が行われました。

本町からも、前田孝明さんが、地域代表者として本町における取り組みの一端を発表してくださいました。父親の家庭教育に果たす役割が重要となってきている今日、意義ある研修になりました。

盛り上がったスポーツ少年 国交流会



町内のスポーツ少年団員による交流会が8月24日（土）行われました。予定していたドラゴンボートレースはできませんでしたが、体育館で各種スポーツ交流を実施しました。12チーム、約120名の子供たちが集まり、チーム対抗形式で輪投げ、キンボール、ミニバレーボール、長縄跳びにチャレンジしました。長縄跳びでは、大きな掛け声で、連続146回を跳び続けた紫尾魂Aチームが最高記録を上げたなど、かねてしないスポーツを通して、会員相互の親睦と交流が図られた半日となりました。



（新ALT）
フィリップ
ラバハンズ

鶴田に到着する前に、私はいろいろな気持ちで、興奮しました。新しい何かが始まること、うれしい反面、神経質になり不安でもありません。私は、鶴田について何も知らず、どうなるのか分からないからです。

鹿児島空港で、「フィリップさん、鶴田町へようこそ。」と書いてある大きなプラカードを持った二人の笑顔に迎えられる、とてもうれしかったです。

空港からのドライブは、非常に興奮しました。なぜなら、日本の地方を見る最初の機会だったからです。ここには、山、森林、水田等、素晴らしい景色があります。鹿児島は、働くには良い場所だと思っています。私は、鶴田で教えることがとても幸運だと感じています。なぜなら、外国語と外国の文化を経験するチャンスがあるからです。鶴田の多くのよい友人を作り、日本の生活について多くを学びたいと思います。話したいときは、皆さん、気軽に声をかけてください。かみつきませんから。（歓迎会スピーチより）